

双葉の園 園だより

「イヤだ！ = 独立宣言」

緊急事態宣言のさなかですが、子ども達は変わらずに元気に過ごしています。各クラスからは、子ども達が園に慣れた様子や、クラスの報告がなされています。新しい担任に変わったクラスでは、子ども達が保育士を試すような行動が報告されてきていますし、持ち上がりのクラスでも今までとは違う姿を見せてくれています。

お昼寝の時にわざと目立つように大きな音を立てて注意を引いたり、何度注意しても同じことを繰り返して担任から叱られたりしています。

いままでは、保育士がもうお部屋に帰ろうと言えば、「すぐに『はいっ！』と良い返事をしてくれていた ○君が、面と向かってイヤだ！と言うのですよ。どうしたらよいのでしょうか。」と保育士が少し困っています。「こういうことは毎年あるねえ！」と言うと、経験のある保育士が「そう！そう！！」とうなずいています。

年齢があがって子ども達が権威に対してモノ言う事ができるように成長してきたわけですから、これはうれしい事ですが、その反面、保育士は子どもから反応を試されてもいます。

子どもは自分で考えて、先生の言うことのすべてを聞かなくても、このぐらいは許してくれるだろうと思いつつ・・・イケナイと思う事をしているわけです・・・自分の行為と先生の反応を確かめながら駆け引きしているわけです。

そこで先生が、権威を振りかざして言うことを聞かせようとしては、子どもの気持ちに伝えることはできません。

どうしたらよいのでしょうか？

難しい問題ですが、ここは時間をかけて説得するか・・・一度は子どもの気持ちに伝えてあげてから、今は何をやる時間なのかを説明するか・・・子どもとしっかりと向き合う時間が必要です。

私たちは、そのうち気持ちが伝わると信じています。

